

## 地方会議（福井県福井市）

### 1. 日時、場所

平成24年3月15日（木）14時～16時  
福井商工会議所コンベンションホール

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 120名

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	24
資金調達	1
経営指導・経営支援	6
技術力・人材（技能承継等）	4
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	3
女性層の活力発揮	2
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	1

#### （2）主な意見

##### 【資金調達】

- ・農業個別保証制度を参考に、個別黒字化支援制度を創設し、黒字化を目指すところに融資。目標達成できれば返還不要というモチベーションを高める施策が欲しい。

##### 【経営指導・経営支援】

- ・景気が悪いときには、開発マーケティングに対する支援が欲しい。雇用調整助成金等の守りの支援策のみならず、攻めるためのマーケティング等の支援が必要。
- ・失敗の事例を学ぶことが重要。失敗は成功のもと。失敗をいかに活かすかが重要。
- ・業績が良いときに次への投資となる支援を希望する。
- ・小規模の場合は一回の失敗が命取り。失敗についてのサポート体制の整備が必要。

#### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・小さいときから起業するときの動機付けが重要。キャリア教育は企業の活性化、地元小規模企業の顔の見える化ができる。機会を増やすためのマッチング等の支援を。
- ・農業に取り組む際に農家の高齢の方を訪ねて知恵を授かっているが、こういった「修行」のための補助を希望。
- ・ベテラン職人の技術を承継する仕組み、政策が必要。訓練のためだけに雇っている余裕がないなかで人を困いながら技術を承継する政策を希望。
- ・老舗企業が事業承継できずに辞めてしまうのは大きな損失。地域の老舗企業のノウハウを地域、日本で残す政策を。

#### 【販路開拓（海外展開等）】

- ・中小企業には、モノに対する支援ではなくソフト支援が必要。
- ・海外展開支援のジャパブランド事業は、3年連続支援の制度があるがそれ以降の長期的な支援を希望する。
- ・海外の法規を勉強しておく必要あり。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・異業種の集まりで盛り上がることで全体を盛り上げていくことを考えていくべき。若手の活力を発揮するには何かノリを良くする活動が大事ではないか。
- ・若い後継者のやる気を削ぐのは、過去の成功体験に囚われた先代。若手のやる気を掘り起こす政策を希望。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・女性のパワー、底力・草の根的な取り組み・感性・気配りを活かす支援を希望。
- ・子育てと仕事の両立は家庭の中での協力がないと無理。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・現状の大店立地法は競争をあおるだけで、地元の商店がなくなり、買い物難民を生んでいる。一定のルール作りを。
- ・中小企業、小規模企業は地域の雇用、生活を支えている。勝ち残りだけでなく生き残りのための政策が必要では。
- ・小規模企業にフォーカスした支援策が必要。

#### 【その他】

- ・農園を立ち上げて収穫したナツメからエキスを抽出し販売している。農地転用の問題や薬事の規制等の問題がある。省庁縦割りではなく連携して欲しい。